

## 本時のねらい

アプリ「ibisPaint」を活用し、イメージ素材を操作して組み合わせ、コラージュ作品を創造する活動を通して、材料の形などを基に造形的な活動を思いつづることや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考える。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ibisPaintの画像処理機能（コピー、ペースト、レイヤー）を使って、イメージを操作し合成画像作品をつくる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・AppleTV ・電子黒板 ・タイマー ・ペイントソフト（ibisPaint） ・ロイロノート ・GoogleClassroom

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お絵かきトレーニング</li> <li>・お題の絵を、10秒フリーハンドで自由に描く。（合計3作品）</li> <li>・ロイロノートで作品を共有する。</li> <li>ピックアップ紹介で取り入れたいところをコメントする。</li> <li>○学習課題をつかむ。</li> <li>「コラージュをつかって作品をつくらう」</li> <li>・本時配付資料から活動テーマを選択、決定する。</li> <li>・素材のコピー、ペーストの技法を使い、画像合成作品の制作を開始する。（写真1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadのミラーリング機能を使い、画面を随時提示する。</li> <li>・iPadで、指やペンをつかって直接絵を描く。</li> <li>・ロイロノートのカードに絵を描き、提出箱に送信し共有することで、すぐに作品を確認できる。</li> <li>・素材加工の過程をibisPaintの制作動画機能で提示することで活動の見通しが持てる。</li> </ul>
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○素材の選択、制作作業を行う。</li> <li>・必要な素材を切り抜き、組み合わせる。（写真2）</li> <li>・作品のバリエーションを増やしていく。</li> <li>○作品の中間発表・交流をする。</li> <li>・提出作品を選択する。</li> <li>○作品を提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ibisPaint」では、レイヤー、なげなわ、コピー、貼り付け、移動変形、回転、拡大、縮小、消しゴム、レイヤー効果などを使用する。</li> <li>・ロイロノートの提出箱に、保存した中間作品を共有することで、後半の活動に活かす。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いの作品を鑑賞する。</li> <li>・ふりかえり、創作コメントを書く。（写真3）</li> <li>・気に入った作品へのコメント、工夫、苦勞、感想</li> <li>・素材を使い新しい作品を作ることができたか</li> <li>・他の作品を見て、制作の参考にできたか</li> <li>○創作コメントを発表/交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノート提出箱の共有機能を使って、相互に作品を鑑賞させる。</li> <li>・ふりかえり記入の際、キーボード入力を推奨していく。</li> <li>・一人一台端末を活かし、授業後も、自主学习等で作品作りを推奨する。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子

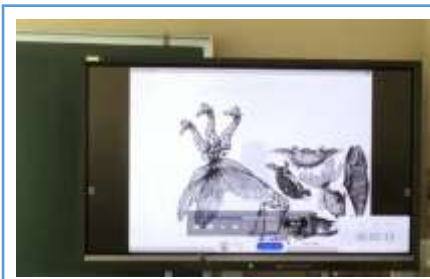


写真1 素材加工の過程を動画で再生している様子



写真2 作品を制作している様子

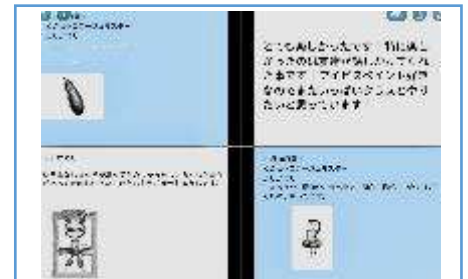


写真3 提出されたふりかえり

## 児童生徒の反応や変容

・レイヤー操作の感覚、コピー＆ペースト、移動、変形の手順を体得していくことで、より作品制作に集中できるようになっていった。

・「コラージュ」による制作活動を通じて、素材の使い方を転換することにより、独創的な作品が誕生するという、実際大人になっても自然と制作活動で使うことができるような体験をすることができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・イメージを切り取り、組み合わせる技術は一度獲得すれば生涯使える技術である。複雑に見える操作も、適切なステップで学習を進めることにより、小学校低学年での習得が可能である。